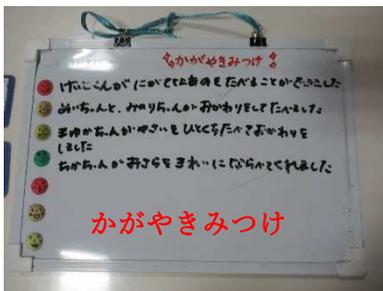




## るみちゃんレストラン

(職員室の先生と、職員室で食事ができます)

2か月に1度食育会議を行っています。まんまる一むの先生と各クラスの意見交換の場です。5月は残食の話になりました。この頃残食が多いとのことで、まんまる一むは、『少しでもどんな味なのか。匂いなのか。柔らかさや硬さなどを食べることで知ってほしい。感じてほしい』という思い。保育の現場では0歳児から5歳児どのクラスとも『無理強いはいしない。食べたくないものを無理に食べなくてもよいのではないか。好きなものをおいしく食べてほしい。でも残食の多さは気になる。世界中では毎日食べることが困難な子どももいるのに…。「少しだけ食べてみようよ。」という言葉かけは、苦手でもどうしても食べられない子どもに言いたくない…』という思い。両方の思いを受け止めながら、どのようにしていくかを話し合いました。みそらこども園は以前より3歳～5歳以上児クラスはバイキングをしているので苦手な食材や食べたくないものは少しにしてほしいと自分の気持ちを伝えています。逆に好きなものは大きいサイズを選んだり、多くほしいと伝えることができます。食べないという気持ちも伝えてきたら受け入れています。でもそうすると本来食べてほしい量ではないので残食も増えるし、本当にこれよいかと保育教諭たちも悩んでいました。今回、全クラスで話し合う中で、子どもたちの自分の気持ちや思いを伝えるということを尊重しながら、子どもの苦手なものに挑戦した!! 食べることができた!! 少し食べてみようとした!! ことをお集まりの時に友達に知らせてみんなで喜んだり、ほかのクラスの先生に共有してもらい、たくさんほめてもらったりを繰り返し日々の中でおこなっていく。そんなみんなの食事における**かがやきみつけ**をみそらこども園全体で共有しています。特別感が大好きな子ども達です。職員室で職員室の先生と食事ができる**るみちゃんレストラン**へ招待されることもあります。一日4人限定です。前日に招待券をもらった子ども達は食事時間が待ち遠しくて、「今日、るみちゃんレストランなんだ～♪」とすれ違う先生たちに言ってきます。その時に「そうだよね～。先生聞いたよ。〇〇ちゃんが苦手な小松菜を食べたんだってね! すごいね。嬉しいよ。」と言われた子ども達の表情は自信に満ち溢れています。このような繰り返しの中で食に興味を示し、食事を楽しみにして、残食が減ったり、食育に繋がってほしいと思っています。**かがやきみつけ**は食事に関してのかかがやきなので、『たくさんおかわりしたよ』『お皿をきれいにかたづけた』というかがやきもあります。



嬉しくて  
おしゃべりもは  
ずみずみ。おかわ  
りに何度もいき  
ます。

夕方、つき組の女の子とぬりえをしているときに、私が「なんだか眠たくなってきたな～」とポロリと。「じゃあ眠ったらいい」「先生、やすんだらいい」と言われました。(笑) その通りなんですけど…その時にふと思いだしたのがこの本です。



### ヨシタケシンスケ 『あつかったぬげばいい』

少し紹介します

- ・あつかったら…ぬげばいい
- ・ふとっちゃったら…なかまをみつけばいい
- ・よのながゆるせなかつたら…りそうのせかいをつくればいい(ねんどで)

一部紹介しましたが、なんだかいろいろ考えることに疲れたときに読むと、まあ、いっか! って思えるんです。(笑) 興味のある方、お貸ししますよ!